

日 時：2010年11月24日(水)

場 所：大阪国際会議場 10F

今年度ロータリー研究会は新しく就任された近藤雅臣RI理事が大阪を開催地として招集されましたので、この付随会合である今年度第2回ロータリー財団地域セミナーも大阪での開催となりました。田中作次RI会長ノミニ、近藤雅臣RI理事以下240名近いロータリアンが一堂に集い、午前10時から昼食をはさんで7時間のセミナーが実施されましたが、その内容は相当に意義深いものでありました。特に「Future Vision Plan 未来の夢計画」にはかなり力点がおかれていました。

第3ゾーンの橋本譲ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) の司会でセミナーは開始され、最初の30分間は挨拶、来賓紹介、表彰 (ロータリー財団活動に顕著な成果を上げた3地区が対象) などがあり、その後は1時間半を費やして「未来の夢計画」についての報告と解説が行われました。その「計画」は2013年7月から実施される「100年に1度のロータリー財団の大改革」であり、私たちはこれに備えるためすぐにも準備に取り掛からなくてはなりません。今回第2770地区作成の「未来の夢計画」ハンドブックが全員に配布されました。これは準備を進めて行く者にとって分かり易い解説書と言えます。私たちはこれを紐解きつつ、今年度からパイロット地区として新制度に取り組んでおられる第2650地区ロータリー財団委員長のお話を聞きました。準備段階からプロジェクト実施に至る行程は容易ではないことを改めて知らされました。例えば新しい制度の下で「地区補助金」のプロジェクトを実施するにあたっては、「計画年度」と「事業年度」という2年がかりの事業になるということです。一旦申請した事業は変更が困難なため、実施年度の前の年のうちに相当綿密に事業内容を煮詰めておかななくてはなりません。これまでのロータリーの「単年度制」に慣れている地区もクラブも、頭を切り替える必要があるのです。委員会構成も従来型では事業の遂行は難しくなります。新補助金制度についての十分な理解と真剣な議論がいよいよ必要となってきました。

午後はロータリー日本財団の現況 (公益法人化の実

現に近い)、ポリオ2億ドルのチャレンジ (寄付総額1億5000万ドル超に至っている)、ポリオ根絶への歩み、ロータリー財団の財政現況 (改善が進んでいる)、寄付増進、ロータリー・カード (初めてクラブ事務局口座が認可される)、などについて解説がありました。

休憩ののちロータリー平和フェローについての解説に続き当地区出身の平和フェロー、寺西悦子さんのプレゼンテーションが予定されていましたが、ネパール赴任直後で残念ながら都合がつかず予定の時間を利用して当地区PG井上暎夫財団学友コーディネーターが寺西悦子さんと財団学友の西口三千恵さんについてご報告されました。寺西悦子さんはネパールのカトマンズでIOM (国際移住機関) のリーダーとして深刻な問題となっている人身取引や労働移住問題に取り組み、被害に遭った子供を含む多くの人々の経済自立支援という困難なプロジェクトを実施しておられます。西口三千恵さんは英国で国際開発マネジメント修士課程を修了後アフリカのザンビアやマラウィにおいて農村開発、教育支援、救急システム構築事業やHIV/エイズ関連プロジェクトに参加され、2008年1月からはカンボジアにて活動し現在カンボジア王国の救急システム構築プロジェクトに従事しておられます。西口さんはカンボジアの僻地でグラフィック診療所建設を成功させましたが、様々の医療機器が不足していました。これに対して第2660地区の19のクラブが合同で2年がかりでマッチング・グラントも利用の上医療機器を提供し診療所は機能し始めました。寺西さんも西口さんも我が地区の誇るべき二人だと思います。

この後は50分間にわたって活発な質疑応答が行われ、17時に閉会となりました。私たちはこのセミナーから多くの情報を得ましたが、殊に「未来の夢計画」につきましては今後色々な機会を通じて地区内ロータリアンの皆様にお伝えしていかなければならないと考えています。

